

令和元年11月八戸市教育委員会定例会会議録

開催日時	令和元年11月25日(月) 午後1時30分		
場 所	市庁本館3階 議会第1委員会室		
出席者	教育長	伊藤	博章
	教育委員	油川	育子
	教育委員	武輪	節子
	教育委員	大庭	文武
	教育委員	築瀬	眞知雄
事務局出席職員	教育部長	石亀	純悦
	教育部次長兼教育総務課長	橋本	淳一
	教育部次長	小笠原	徹
	博物館長	古里	淳
	学校教育課長	中村	雅臣
	教育指導課長	西山	康巳
	是川縄文館副館長	小保内	裕之
	総合教育センター所長	竹花	和人
	こども支援センター所長	大坂	吉弘
	図書館長	田茂	隆一
	教育総務課参事	尾崎	紀子
	西地区給食センター所長	川口	晃司

開 会

(伊藤教育長)

定刻となりましたので、令和元年11月教育委員会定例会を開会します。

本日の議事録署名は、築瀬委員を指定します。

それでは、はじめに私から、主な会議・行事等について説明いたします。

主な会議・行事等

(伊藤教育長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの説明につきまして、ご質問などありましたらお願いします。

[質疑なし]

本日は議案の提出がありませんので、報告事項にまいります。

はじめに、「冬季企画展 是川遺跡の壺形土器について」及び「閑散期（冬期間）における縄文学習館の利用方法の変更について」は、どちらも是川縄文館からの報告案件になりますので、合わせて事務局からの説明をお願いします。

【冬季企画展 是川遺跡の壺形土器について】

【閑散期（冬期間）における縄文学習館の利用方法の変更について】

(小保内是川縄文館副館長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、ご質問などがありましたらお願いいたします。

[質疑なし]

次に、「八戸市市制施行90周年企画「図書館資料でみる八戸市のあゆみ」について」事務局からの説明をお願いします。

【八戸市市制施行90周年企画「図書館資料でみる八戸市のあゆみ」について】

(田茂図書館長 資料に基づき説明)

(伊藤教育長)

ただいまの報告につきまして、ご質問などがありましたらお願いいたします。

(油川委員)

とても充実した内容であるのではないかと、多くの皆さんが興味を持って足を運ばれることと思います。これまでありがとうございました。八戸圏域連携中枢都市圏が形成され、各種連携事業がスタートしまし

て、圏域町村の利用者数が年々増えているようですので、お互いの強みを生かすという視点から幅広く周知をしていただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

(伊藤教育長)

その他ございませんか。

[質疑なし]

その他、事務局からの報告事項ありますか。

[なし]

事務局からは以上のようなようです。

最後に、その他ですが、委員の皆様方から何かありますでしょうか。

(武輪委員)

「いのちの教育」について、お話をさせていただこうと思います。八戸市は「学校教育指導の方針と重点」の中で、『「いのちの教育」を基底に、「生きる力」を育む学校教育の充実に努める。』とし、これまでも自尊感情を育てる、繋がり、多様性を持つ、そして生き方をしっかり考えさせ、教えるということで、命の重さということ子どもたちに伝えてきたと思います。そして、目指す子ども像として三つの柱を掲げ、一つ目として「思いやりの心を持ち 自他の命を大切にすること」に掲げてきました。しかしながら、12日のようなことが起きてしまいました。男子中学生については、分からない部分、見えない部分、解明できていないことが沢山ありますが、これまで以上に「いのちの教育」について、日々変化する社会の流れに対応しつつも、あらゆる角度から「いのちの教育」について指導していただきたいと思います。そして、子どもたちが自他の命を大切にするという部分で、学ぶ機会や触れる機会を多く作っていただきたいと思います。また、引き続き落ち着いて学校生活を送れるよう、子どもたちの心の面について支援をお願いしたいと思いますし、地域、保護者の皆様からの協力を得ながら、子どもたちを守っていただきたいというふうをお願いしたいと思います。

(伊藤教育長)

ありがとうございました。その他ありますか。

(築瀬委員)

今般の小学生の切り付け事件について、簡単に三つほど申し上げます。今回の事件については、被害者の身体面だけではなく、周りの子どもも含めて心の面での傷というのかなり大きいと思います。そういう傷が早く癒えてほしいと願いますとともに、ご家庭や学校のご労苦に対して、お見舞い申し上げたいと思います。二点目は、今回の事件に至るまでの加害者の動機が明らかになっていない部分について、さらに掘り下げて、今後の再発防止に生かしていただきたいと思っています。三点目は、これまで教育委員会では、学校、家庭、地域との連携や協働体制の強化を進めてきたわけですので、築き上げてきた八戸の教育について、今後も崩すようなことなく、一層の連携、協働体制の強化を進めていただければと思っています。

ます。

(伊藤教育長)

ありがとうございました。その他ございませんか。

(大庭委員)

今回の切り付け事件について、一言述べさせていただきます。一点目は、今は大変辛い事件ですが、児童生徒のカウンセリングや面談等を継続しながら、児童生徒を始め、学校、地域も含めて早く穏やかな教育環境が整えられるよう支えていかなければならないと考えております。

二点目は、先ほど武輪委員からもありましたが、市の教育委員会が掲げている「いのちの教育」ということについてです。私はこれが一つの教育の要になると考えております。なぜなら、これからの子どもたちは「AI」人工知能や情報機器が発達し、生の人と人との関係性が希薄になった社会で生きていくことになるだろうと危惧しています。人間性が薄れていくといいますか、物質の「物」と人間の「者」との違いは、代用できるかどうかと言われております。私もその言葉を大事にしています。今の時代、物質としての「物」は、いくらでも代用品があります。人としてのそれぞれの命は、何物にも代えがたいものであって、それぞれが存在すること自体に意味があるということです。そして、そのような命を自分の命であれ、他者の命であれ、決して何か目的を達成のための手段として使ってはならないということ、何があっても命を手段にしてはならないということです。これは、いじめの問題やSNSの利用方法というところにも通じていく問題であろうと考えています。そのような命に関わる教育について、今後も大切にしていっていただきたいというふうに思っております。個人的な思いを述べさせていただきました。

(伊藤教育長)

ありがとうございました。

(油川委員)

私も今回の事件について、一言申し上げたいと思います。まず、被害に遭われた方が一日も早く、心身ともに回復なされることを祈っています。また、被害に遭われたご家族や児童生徒の皆さんなど、傷ついている皆さんに対しまして、これからも保護と支援に努めていただければと思います。カウンセラーの配置も迅速にさせていただくなど、ご対応ありがとうございました。社会的な絆を深めながら成長するということについて、幼児教育の在り方とともに考えさせられました。今後も安心安全な環境づくりについて、学校の皆さんと教育委員会の皆さんと幼児教育が一緒になって、汗をかいてまいりたいと思いました。

(伊藤教育長)

ありがとうございました。今、委員さんから今般の事案についての要望、感想がありました。私も色々な会見等含めてお話をしてきました。教育ということについては、校長の頃から何度も繰り返し言ってきましたが、私もこういう事案が起きてしまったことに大変ショックを受けております。委員の皆さんからのお話にもあったように、人と人との関係が希薄になっているのも事実であろうかと思っております。生身の人間といいますか、人の痛みも含めて、そういうことが分かる子ども、大人になってほしいということ、

そういう教育にもっと力を入れていくことが必要であろうと思います。こういう事案になりますと、学校現場の先生や学校だけに責任が向くのですが、学校現場は本当に多忙であることも理解しており、今回の事案で学校自体が背負う荷の重さがますます増えていくことはいけないと思います。教育委員会事務局はもとより、保護者や地域と一緒にあって、安心安全な地域づくり、街づくりを進めていかなければならないと感じております。

ご承知のように、八戸の地域密着型教育というのは今年で12年目を迎えました。これは学校運営を先生方だけに任せるのではなく、学校、保護者、地域と一緒にあって子どもたちを育てようという趣旨で進めてまいりました。今回の事案はまさに苦しい、辛い事案になりますけれども、ここからが本当の地域密着型教育の真価が問われるところだと私は個人的に考えています。来年度と言わず、12月からでも地域、家庭の力と一緒にあって、子どもたちが安心して通える学校づくりに、さらに力を入れていかなければいけないと思っております。

委員の皆さんのお話にも出てきましたが、被疑者の動機がよく分かっていないという部分もあります。これはまた少し時間を掛けて見守りながら、それが分かった時点で、私たちが学校教育の中で肝に命じ、対応すべきことが出てくると思いますので、その際は学校と一緒にしっかりとスクラムを組んで、汗を流していきたいと思います。先ほども申し上げましたが、今必要なのは二人の児童生徒のみならず、全部の生徒たちがメンタル面で非常に不安定になってる可能性がありますので、落ち着いて学校に通えるようにするのが、今一番大事なことであると思っておりますので、今ここにおられる事務局も含めて、一緒に取り組んでいきたいと思っております。

閉 会

(伊藤教育長)

これをもちまして令和元年11月の教育委員会を終了いたします。お疲れ様でした。

(午後2時8分閉会)